令和７年度の森林環境譲与税の使途について

■活用状況（全体像）

区分	R元～R6	R7	計	活用率 (R7年度末)	令和８年度以降の活用方針
活用額 (円)	67,777,899	20,477,326	88,255,225	50.8%	・小規模森林整備・危険木伐採補助事業を継続実施。 ・明神の森展望デッキ更新工事や、管理歩道の整備に向けた設計業務委託を実施。 ・令和９年度には明神の森管理歩道の整備工事を実施予定。 ・その他公共施設の木造化・木質化や、木材製品の導入を積極的に進め、譲与税の活用に繋げる。
譲与額 (円)	141,302,000	32,319,000	173,621,000		

■令和７年度の具体的な活用状況

事業名	総事業費 (円)	うち譲与税（円）	事業内容
小規模森林整備事業	1,732,800	1,732,800	森林整備活動団体へ100円/㎡（上限500千円）を補助
危険木伐採補助事業	1,431,000	1,431,000	市内の危険木の伐採、撤去及び処分を行う者へ補助対象経費の1/2以内（上限250千円）を補助
林地測量業務	8,747,200	8,747,200	令和９年度実施予定の明神の森管理歩道整備工事に向け、測量業務を委託
森林整備工事設計業務	2,585,000	2,585,000	令和８年度実施予定の明神の森展望デッキ更新工事に向け、設計業務を委託
松林保全対策事業	2,973,126	743,126	市内松林を松くい虫の被害から保全するため、樹幹注入剤による保全対策業務を委託
森林環境整備業務	1,542,200	1,542,200	明神の森敷地内の枯木等の危険木伐採業務を委託
令和７年度加古川駅周辺回遊性等創出業務	9,900,000	3,696,000	JR加古川駅南広場と周辺道路空間において滞在空間を創出するため、県産木材を活用したストリートファニチャーの設置等を委託
基金積立	11,841,674	11,841,674	今後の森林整備等に備えた積み立て
合計	40,753,000	32,319,000	